

東芝電池(株)

長い歴史があり、“いつでもどこでも入手しやすく使いやすい”特長を持ち、広い用途に使われている一次電池ですが、デジタルスチルカメラの出現と発展、各種携帯情報機器の高性能化、デジタル化の流れに伴い、飛躍的な高出力特性が求められてきています。

東芝電池(株)では、早くから高出力特性に優れた一次電池開発を進めるとともに、“用途別電池”を提唱し、多様化する機器のニーズに合わせた開発を進めてきました。この成果は、2001年に世界に先駆けて商品化したデジタルスチルカメラ専用のニッケル乾電池“GigaEnergy™”となって実を結んでいます。

2003年は、汎用性能とデジタルスチルカメラに要求される高出力特性の両者をバランスよく向上させたアルカリ乾電池、及び高齢化社会の進行とともにその重要性を高めている補聴器用の高容量空気亜鉛電池などを商品化しました。

他方、応用商品の分野では、日本原子力研究所が開発し、同所認定の支援ベンチャー企業(株)環境浄化研究所の製造によるグラフト重合技術を活用した消臭剤に注目し、即効性を持つスプレー方式から広い空間で長時間の消臭効果を持たせた交流(AC)電源方式のエアリオン・ワイドまで多様な消臭器を開発・商品化し、お客さまのニーズに応えています。

常務取締役 山本 正夫

単3形アルカリ乾電池

デジタルスチルカメラ(DSC)専用ニッケル乾電池“GigaEnergy™”の技術をベースに、正・負極組成の最適化を行うことで、大幅な大電流パルス放電特性と、中～大電流連続放電性能の両者を改善した単3形アルカリ乾電池LR6AGを製品化した。

当社従来電池との比較で、大電流パルス放電では200万画素クラスのDSC(単3形2本使用)で撮影枚数が40%アップし、連続大電流放電特性を要求する電動玩具(がんぐ)や携帯MDプレーヤーでは、それぞれ約5～10%の使用時間の延長を実現した。



アルカリ乾電池単3形 LR6AG
LR6AG alkaline dry battery

補聴器用ボタン形空気亜鉛電池

高齢化社会の到来とともに補聴器用電池の重要性が増大しているなかで、耳あな形補聴器用ボタン形空気亜鉛電池の高容量化を進め、PR536とPR41を製品化した。

PR536では、負極系の改善と電池ケースの薄肉化技術(内容積増加)により、当社従来品の72mAhから78mAhへと約8%の高容量化を実現した。

PR41においても、容量150mAhと、当社従来品との比較で約7%の容量アップを実現した。



補聴器用ボタン形空気亜鉛電池 PR536(右)とPR41(左)
PR41(left) and PR536(right) button type zinc-air batteries